



看護学科

森田 牧子 准教授

【研究分野】
【キーワード】
【URL】精神科訪問看護による家族支援、訪問看護師における虐待予防プログラムの開発
精神科訪問看護、家族支援、精神障がい者支援、虐待予防、産業保健
<https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=132mori>

精神科訪問看護による虐待予防 精神障害者と家族の生活を支援します

研究概要

地域で生活する精神障害者の8割は家族と同居しており、多くの家族が精神障害者の退院後の地域生活を支えています。在宅精神障害者の訪問看護利用は、介護負担や家族の高齢化に伴い、増加傾向にあります。看護内容は疾患の状態観察から日常生活支援、家族支援と多岐にわたります。そのため看護師は、家庭内で生じる虐待やリスク状態にある場面に遭遇することがあります。そのようなハイリスクな家族に訪問看護師はどのような観察や看護を提供することで虐待予防に繋がるのか、調査研究を実施しています。

受託研究では埼玉県内の地域と自殺予防対策の調査や対策を共同で行っています。地域社会が活性化するお手伝いをいたします。

研究紹介

- 精神障害者虐待予防に向けた看護ケアプログラムの構築
 - 1.訪問看護師が虐待リスクを測定できる指標「在宅精神障害者の支援状態評価尺度」の開発
 - 2.訪問看護師の虐待リスク家庭への介入ケア内容の分析
 - 3.訪問看護師の観察内容と「在宅精神障害者の支援状態評価尺度」のリスク度測定調査（実態調査）
 など、精神科訪問看護師の実践での困難、家族や当事者の困難を共有し、支援方法を検討しています。
- 訪問看護師による精神障がい者の注意サインの研究
精神科訪問看護師が精神障がい者の症状悪化をどのように捉え、どのようなサインが悪化に繋がるかについてミックスメソッドを用いて研究しています。
- 自殺予防に関する調査と対策
地域住民にK6等を用いてメンタルヘルスに関する調査を行い、住民の現状を把握し行政の方々と求められる対策を検討しています。

講座テーマ紹介

- 精神障がい者虐待予防、訪問看護における虐待予防などに関連した一般向けおよび専門職向けの講座
- 虐待予防における多職種連携に関連した講座など
- 産業保健におけるメンタルヘルスなど
- ゲートキーパー研修
- 自殺予防、メンタルヘルスに関すること

アピールポイントなど

精神科訪問看護師の経験から、精神障がい者が安心して地域生活を送るための支援や調査を行っています。自殺予防に関連する調査やメンタルヘルスに関する講演を行います。